

ちょっと道德

庭 坂 小 学 校
道 徳 便 り
第 7 号
平成 28 年 6 月 8 日 (水)

ちょっと紹介！5の1の授業

6月6日（月）5年1組の授業をご紹介します。



- ・ 5年1組
- ・ 指導者
長澤洋子
- ・ 主題
「工夫して新しいことを」
- ・ 教材
「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」
(東京書籍)

北海道旭川の旭山動物園といえば・・・「行動展示」。自然界のありのままの活動を身近で見ることができることで有名です。「旭山動物園物語～ペンギンが空をとぶ～」映画にもなりました。

教材は、当時副園長だった坂東さんがペンギン館を作る話でした。「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」という考えのもと、世界的にも珍しい360度の視界をもつ水中トンネルを作り上げる過程が書かれていました。上の写真は、児童が坂東さん役、先生が建設現場責任者役になり、役割演技をしているところです。

「そんなトンネル、工事が難しいから無理です。」

「ペンギンが飛ぶ様子を見せたいんです！」など、たくさんの問題にぶつかってもあきらめなかった坂東さんの思いを、演技をしている児童もそれを見ている児童も、それぞれによく考えていました。

教材文の一部をご紹介します。

～次から次へと出てくる問題をどう解決するか、悩みは尽きませんでした。そのたびに、夢を追い求める坂東さんの口から必ず出てくるのは、「ペンギンの気持ちになって考えてほしい。」のひとことです。～

子供たちは坂東さんを通して、「積極的に新しいものを求めたり、生活を工夫してよりよくしようとしたりする」上で大切なことについて考えました。

以下は、児童のワークシートより抜粋したものです。

☆ぼくもあきらめないで最後までやりきる人になりたいです。そして難しいことにもチャレンジする心をもっていきたいです。

(伏内陽平さん)

☆難しいことがあってもやってみないと分からない。そしてそれをするにはその主役(例えばペンギン)の気持ちを考えてあげることが大事だと思いました。

(小林 夢さん)



☆坂東さんは、水中トンネルをペンギンのことをすごく考えて作った。どんなに難しいことも乗り越えるということを自分の生活でいかしていきたいです。(道山璃空さん)

☆わたしは、坂東さんのようにあきらめない気持ちを自分のこれからの生活に生かせるといいなと思いました。あきらめなかったから、すばらしい水中トンネルができたからです。坂東さんは、ペンギンの気持ちになれるのはすごいなと思いました。(秤倉佳暖さん)

(文責 遠藤 優子)